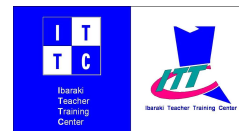


学級活動(2)(3) 共通事項の題材と展開例



児童が社会生活を営む上で必要な考え方や行動の仕方を身に付ける題材を設定します。基本的には小学校学習指導要領の学級活動(2)(3)の共通事項に示されている7項目に関する題材を設定します。それ以外の課題も取り上げられますが、生活指導上の問題は日々の生活の中で適宜指導します。

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 基本的な生活習慣の形成

題材「気持ちのよいあいさつ」【低学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
校長先生へのインタビューや児童へのアンケート結果により、挨拶における課題をつかむ。	挨拶しにくい理由を小グループで出し合い、原因を整理する。	解決方法を段階的に見付けられるように教師が情報提供する。	自分に合うめあてを個々に決め、毎日の振り返り方を全体で決める。

イ よりよい人間関係の形成

題材「男女仲よく」【高学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
男女のトラブルに関するアンケートを見て、感想を発表する。	どうしてトラブルが起こるのか、原因について考え、改善の必要性に気付く。	みんなで話し合い、男女が協力して楽しい学級生活にするための方法を考える。	話し合いの中から自分ができるようなことを考え、めあてを決める。

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

題材「命を守る行動」【高学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
避難訓練の反省点を考え、避難時必要なことを知った上で、課題をつかむ。	課題の原因をさぐるために、グループで話し合い、クラス全体で交流する。	日頃からの備えについて話し合ったり教師から備えの例を情報提供したりして、解決方法を見付ける。	日頃からの学校生活の改善につながるように、放送を聞く・廊下は歩くなど具体的に決める。

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

題材「バランスのよい食事」【中学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
嫌いな食べ物アンケートの結果のグラフを基に、食事における課題をつかむ。	原因を整理し、解決に向けての方向性をはっきりとさせ、改善の必要性を実感する。	苦手なものを食べるための工夫について意見を出し合い、解決方法を見付ける。	みんなの意見を参考にして自分に合った解決方法を選び、自己決定する。

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

題材「自分で学ぶ自主学習」【高学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
「家で宿題以外にしている学習」アンケート結果から課題をつかむ。	家庭で自主学習ができていなかったり、できにくかったりする原因をさぐる。	自主学習への見通しがもてるように、問題の原因を解決するための多様な方法を見付ける。	みんなで考えた解決方法の中から、自分の課題に合った方法を選び、目標を決める。

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

題材「当番の仕事」【中学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
掃除など学級生活における当番の仕事に対する取組状況を捉え、共通の問題をつかむ。	忘れたり、面倒になったりする原因を、みんなで話し合ってさぐる。	みんなの生活に貢献することの喜びを教師や高学年の言葉として伝え、解決方法を見付ける。	見付けた解決方法の中から、自分に合った方法を選び、個人目標を決める。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の活用

題材「本のかりかた、かえしかた」【低学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
整頓されている本棚とそうでない本棚の写真を見比べ、課題をつかむ。	本棚が乱れてしまう理由について、みんなで意見を出し合い、原因をさぐる。	みんなが利用しやすい学校図書館にするための方法を見付ける。	日頃の図書室の利用の仕方について自分の生活を振り返り、個人目標を決める。